新刻

瓶花容導集　坤

389

池坊專定

池坊專定

江州徳應寺巖坊

江州
栄正寺
莞尓房

江州
正福寺楠枝房

越後長岡
草間幸左衛門

尾州名古屋
廣岡嘉兵衛

越後

冨所彌五太

播州

岡野庄兵衛

江州長濱 川口傳四郎

江州長濱 川路十兵衛

越後
圓照寺

江州
法光寺

信州　岩下平助

上州國分　住谷伯人

勢州桑名

大圓寺幸空

和州

服部吉右衛門

播州 姫路 平井権兵衛

江州 川崎五兵衛

江州 中村金六

江州日野 光明寺

播州

森澤六郎右衛門

石州

石田彦三郎

江戸 齊藤領助

攝州真上 眞如寺

服部

久野小左衛門

越中

福田茂手木

勢州桑名　片桐甚助

尾州　福住寺

尾州
神谷儀右衛門

遠州相良
小田南溪

豊前

渡邊治郎右衛門

池坊専定

参州松江　松野万助

京

德丸源太郎

豊前

安部治左衛門

佐渡

渡部覺右衛門

遠州掛川

松田嘉助

若州　帆闕八兵衛

豊後日田　西教寺

豊後日田

後藤平治兵衛

豊前四日市

渡邊清右衛門

播州
冨岡六右衛門

豊前宇佐
石上太郎兵衛

豊前宇佐

富永丈四郎

越後

富所太左衛門

江州

永田花亭

上州吉井

田村幸右衛門

藝州廣嶋
向井
与右衛門

奥州會津
齋藤七郎左衛門

石州 顯正寺

京 川越甚兵衛

播州佐保社　英保歓治

高サ水際ヨリ貳間餘
横四間餘

華道の濫觴は聖徳太子よりこれを傳ふ
その後年々繁昌してその道を達する人あげて不知之
中にも二代の専応の時に一瓶の中に小菴をかまへて執
花の妙法代々相続して今の世に至へし
家は小池坊の禁中東若宮の両勅にて
為一瓶の宗匠となりて其支配を定め来らる當池坊
専宥か撰し組し也此風流を新しく聊か
つゝもりこし志ありて味ふ道は祥にして流削せ

を写校せしむ外ニ壹冊之図ニ古ノ事
中仰者成人ニ令しこゝにしも後撰百龍ニ
出ニ出ニ之ヘし圖ニ而後席ニ而昇花冠
論ニを更文れし　是ニよつて竜を賞翫する
人ニしこゝろえ人ニ令得しため此事を書す

寛政九年丁巳孟春

小野木主筆
永田長記帝
義直（花押）

小林部